

高等学校

令和7年度（1学年用）

教科

国語

科目

現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：佐藤）（2組：佐藤）（3組：佐藤）（4組：佐藤）（5組：佐藤）

使用教科書：（「精選現代の国語」東京書籍、「新編現代の国語学習課題ノート」、「ネクスト常用漢字」第一学習社）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる資質・能力を育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重して能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	単元 自己と他者 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の主張の要点を捉え、今までの学習を生かして自分の興味・関心を認識し、考えをまとめ、伝えようとしている。	・指導事項：生きる原点としての自己への理解を深めよう。 ・教材「まだ知らない自分に出会う」 ・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等	○	○	○	【知識及び技能】 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を踏まえて、自分自身の興味や関心について、その魅力と今後への意欲を説明しようとしている。	○	○	○	5
	単元 自己と他者 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 相手に「届く言葉」とそうでない言葉の違いについて、対比的に書かれた評論を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く評論の文章構造や対比関係を捉え、学習課題に沿って評論の理解を深め、現代の話題や問題に関心を持つ。	・指導事項：評論を読んで筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げよう。 ・教材「届く言葉」 ・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等	○	○	○	【知識及び技能】 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く評論の文章構造や対比関係を捉え、学習課題に沿って評論の理解を深め、現代の話題や問題に関心を持とうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		○			1
	単元 認識を深める 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すととともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。	・指導事項：評論を読んで筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げよう。 ・教材「水の東西」 ・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等	○	○	○	【知識及び技能】 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、その関連性を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 「鹿おどし」と「噴水」について具体的にイメージし、その特徴を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の理解を踏まえて、「鹿おどし」のような日本独自の文化を象徴する事柄や物事を挙げて、西洋と対比しながら自分独自の視点で説明している。	○	○	○	7

	単元 認識を深める 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に場面の様子を捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中に挙げられている実験から、筆者が推測していることを理解しようとしている。	・指導事項：多様な価値観に目を開き、社会の未来を考えよう。 ・教材「不思議な拍手」 ・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等	○	○	○	【知識及び技能】 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を踏まえて、「分かる」という認識や人間の心の持つ複雑さについて理解するとともに考えを深め、説明しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		○			1
2 学 期	単元 言葉と社会 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すととともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び標記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 他言語と比較することで言葉の意味の在り方を理解し、言葉に関心を持って言語生活を豊かにしようとしている。	・指導事項：新鮮な着眼や発想に触れて、視野を広げよう。 ・教材「言葉は世界を切り分ける」 ・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等	○	○	○	【知識及び技能】 接続詞に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、各段落の関係を理解して説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く言葉の意味への理解に努め、学習課題に沿って筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	5
	単元 言葉と社会 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んでコミュニティでの活動について筆者の考えを読み取ろうとしている。	・指導事項：「豊かさ」とは何かについて書かれた評論を読み、その考え方の違いについて理解を深めよう。 ・教材「まちの豊かさとは何か」 ・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等	○	○	○	【知識及び技能】 時間軸に注意し、筆者の置かれた状況と周囲の変化を確認しながら読んで、文章の構成を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んでコミュニティでの活動について筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして人間や社会にとって「豊かさとは何か」について考えを深め、自分の考えを討論しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査				○	○	○			1

	単元 共に生きる 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで、自分の考えをまとめようとしている。	・指導事項：多様な価値観に目を開き、社会の未来を考えよう。 ・教材「真の自立とは」 ・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等	○	○	○	【知識及び技能】 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「自立」と「独立」の違いを整理し、筆者独自の定義として理解し、それらを説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 「自立」の在り方について、現代社会における具体的な課題を複数示しながら、それらの課題を自分の日常生活に引き付けて、説得力のある意見を述べている。	○	○	○	7
	単元 共に生きる 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に「自立」と、その対極である「依存」について筆者の考えを読み取り、自立とそれを支えるものの関係について考えを深めようとしている。	・指導事項：比喩や具体例に注意して内容を読み取り、自立とそれを支えるものの関係について考えを深めよう。 ・教材「自立と市場」 ・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等	○	○	○	【知識及び技能】 意見と根拠（具体例）、問いかけとその答えを確認しながら読み、論理の展開を捉えて、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に「自立」と、その対極である「依存」について筆者の考えを読み取り、理解を深め、学習課題に沿って実社会における「市場」の評価すべき点と注意すべき点をまとめようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		○			1
3 学 期	単元 世界を広げる 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者が挙げた事例の意味を読み解き、遺伝システムにおける変異の意義を理解しようとしている	・指導事項：事例に即して内容を正確に読み取り、遺伝システムにおける変異の意義を理解しよう。 ・教材「無駄と進化」 ・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等	○	○	○	【知識及び技能】 本文中の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者が挙げた事例の意味を読み解き、今までの学習を生かして筆者の意図を正しく理解しながら、自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	7
	単元 世界を広げる 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者が説く人間と人工知能の比較について理解し、両者の違いについて考えようとしている。	・指導事項：人工知能に関して人間と比較しながら論じた評論を読み、両者の違いについて考えよう。 ・教材「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」 ・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等	○	○	○	【知識及び技能】 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者が説く人間と人工知能の比較について理解し、今までの学習を生かして筆者が考える「自分の人生を生きる」行為について読み取り、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査				○	○	○			1

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（ 1組：小柴） （ 2組：小柴） （ 3組：小柴） （ 4組：小柴） （ 5組：小柴）

使用教科書：（ 「新編言語文化」東京書籍 ）

教科 国語	の目標：	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする	自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする	我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論、随筆などを読み、我が国の言語文化について論述したり発表したりする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元A 古文入門1 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ること。	・指導事項:古文と現代文の違いを知り、古文を読む基礎となる言語の決まりを理解する ・教材：古文に親しむ ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	○	○	○	6
	単元B 古文入門2 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語の活用について理解し、学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。	・指導事項：文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取る ・教材：絵物師良秀『宇治拾遺物語』 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】 用言の活用について理解を深め、さらに本文で使用されている以外の使われ方の知識を得ている。 【思考力・判断力・表現力等】 絵を描くことに対する良秀の姿勢がどのようなものかを読み取り、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 絵を描くことに対する良秀の姿勢について、自分の考えを文章にまとめるとともに、発表や話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		○			1
	単元C 漢文入門 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。	・指導事項：故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。 ・教材：借虎威『戦国策』 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解しようとしている。我が国の言語文化に特徴的な量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解しようとしている。古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などについて理解しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもとうとしている。作品の内容や形式について、批評したり討論したりしようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。	○	○	○	6

	単元D 史話 史話を楽しむ 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら進んで調べて得た情報を的確に整理し、学習課題に沿って、人物像が伝わるポスターを作ること。	・指導事項：話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。 ・教材：魏武捉刀『世説新語』 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】 本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 【思考力・判断力・表現力等】 登場人物の行動から、その意図を読み取り、根拠とともに説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら進んで調べて得た情報を的確に整理し、学習課題に沿って、人物像が伝わるポスターを作ろうとしている。	○	○	○	6
	定期考查			○	○		○			1
2 学 期	単元A 物語 古人の生き方 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。	・指導事項：歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 ・教材：筒井筒『伊勢物語』 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】 本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 三人の登場人物の心情を、地の文と和歌から読み取り、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 二人の女の人物像について、本文の内容を基に文章にまとめるとともに、その内容を他者に説明しようとしている。	○	○	○	6
	単元B 小説2 葛藤する心 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。	・指導事項：極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。 ・教材：「羅生門」芥川龍之介 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別の小説を読む際にも活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 老婆の主張や下人が行きついた考えから、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 老婆の発言についてどのように思うか文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考查			○	○		○			1
	単元C 随筆 日々の思い 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。	・指導事項：随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。 ・教材：奥山に猫またといふものありて『徒然草』 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】 本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の表現や叙述の巧みさから、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文のおもしろさはどのような点にあると思うか文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	6
	単元D 小説 現実の向こう側 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを捉え、学習課題に沿って、小説の中に展開する独自の世界を味わおうとしている。	・指導事項：表現に即して小説を丁寧に読み味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。 ・教材：「夢十夜」夏目漱石 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別の小説を読む際にも活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 「第一夜」「第六夜」ともに夢の中の世界であることを理解し、それについて根拠をもって説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 小説の中に展開する独自の世界を捉え、それについて自分の考えを文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考查			○	○		○			1

3 学 期	単元A 随筆 日々の思い2 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え、古今異義語について考えること。	指導事項：作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材：うつくしきもの『枕草子』、古典の窓・古文学習のしるべ ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え、古今異義語について考えようとしている。	○	○	○	6
	単元B 詩歌 【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで、和歌や歌謡における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとすること。	・指導事項：詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 ・教材：I was born ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで、和歌や歌謡における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	単元C 小説 現実の向こう側 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを捉え、学習課題に沿って、小説の中に展開する独自の世界を味わおうとしている。	・指導事項：主人公の心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して話の展開を捉える。 ・教材：「デューク」江國香織 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別の小説を読む際にも活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 表現に注意して話の展開を捉え、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話の展開を捉え、それについて自分の考えをまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	3
	定期考査		○	○			○			1

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教 科： 地理歴史 科 目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1～5 組： 安部 ）

使用教科書：（ 新地理総合 帝国書院 ）

教科 地歴公民 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 【知識・技能】 世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域について理解し、その知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球上の位置に対する関心を高め、それらを意欲的に追究する。	・指導事項 ①緯度、経度 ②地球儀と世界地図 ③日本の位置と領域 ・教材 教科書 ・一人1 台端末の活用 等 Teams、GoogleEarthなど	【知識・技能】 世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	7
	第2章 結びつきを深める 現代世界 【知識・技能】 交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄とその知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 交通・情報通信が国境をこえて結び付きについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高める。	・指導事項 ①交通の発達 ②情報通信の発達 ③拡大する貿易 ・教材 教科書 ・一人1 台端末の活用 等 Teams、GoogleEarthなど	【知識・技能】 交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 交通・情報通信が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	4
	定期考查			○	○		1
	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 【知識・技能】 地形や気候がもつ特徴について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 地形や気候を生かした生活の工夫や独自の文化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形や生活が持つ特徴について、関心と課題意識を高め意欲的に追究する。	・指導事項 ①世界の地形と人々の生活 ②世界の気候と人々の生活 ・教材 教科書 ・一人1 台端末の活用 等 Teams、GoogleEarthなど	【知識・技能】 地形や気候がもつ自然の特徴について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地形や気候を生かした生活の工夫や独自の文化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形や気候が持つ特徴について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	13
	定期考查			○	○		1
	【知識・技能】 世界各地で発達してきた文化について、歴史的背景を踏まえ、現代の産業が発達してきたことについて知識を身に付ける。		【知識・技能】 世界各地で発達してきた文化について、歴史的背景を踏まえ、現代の産業が発達してきたことについて知識を身に付けている				

2 学 期		【思考・判断・表現】 世界各地で発達してきた文化について学び、過去から現代までに発達を遂げた産業の背景について多角的に考察し、まとめたものを適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界各地で発達してきた文化について学び、過去から現代までに発達を遂げた産業の背景を，生活様式や産業にもたらす変化について意欲的に追究する。	・指導事項 ①世界の言語・宗教と人々の生活 ②歴史的背景と人々の生活 ③世界の産業と人々の生活 ・教材教科書 ・一人1台端末の活用　等 Teams、GoogleEarthなど	【思考・判断・表現】 世界各地で発達してきた文化について学び、過去から現代までに発達を遂げた産業の背景について多角的に考察し、まとめたものを適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界各地で発達してきた文化について学び、過去から現代までに発達を遂げた産業の背景を，生活様式や産業にもたらす変化について意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査				○	○		1
	第2章　地球的課題と国際協力	・指導事項 ①地球的課題 ②環境問題 ③資源エネルギー問題 ④人口問題 ⑤食糧問題 ⑥都市居住問題 ・教材教科書 ・一人1台端末の活用　等 Teams、GoogleEarthなど	【知識・技能】 現代の地球上における、様々な課題について、一人一人が取り組むべき身近な課題として知識を身に着けている。 【思考・判断・表現】 現代の地球上における、様々な課題について、一人一人が取り組むべき身近な課題として、解決に向けた取り組みを考察し、まとめたものを適切に表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の地球上における、様々な課題について、一人一人が取り組むべき身近な課題として、解決に向けた取り組みを意欲的に追究し，とらえている。	○	○	○	13	
定期考査				○	○		1	
3 学 期	第3部　持続可能な地域づくりと私たち	・指導事項 ①日本の地形・気候 ②地震・津波と防災 ③火山災害と防災 ④気象災害と防災 ⑤自然災害への備え ・教材教科書 ・一人1台端末の活用　等 Teams、GoogleEarthなど	【知識・技能】 日本国内の地形と気候について学び、現代の我が国が抱える災害リスクについて知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本国内の地形と気候について学び、現代の我が国が抱える災害リスクについてを考察し、防災・減災のための活動を、身近な課題として、解決に向けた取り組みを考察し、まとめたものを適切に表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本国内の地形と気候について学び、現代の我が国が抱える災害リスクについてを考察し、防災・減災のための活動を、身近な課題として、解決に向けた取り組みを主体的に考察する姿勢が身に付いている。	○	○	○	15	
	定期考査				○	○		1
								合計
							70	

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅰ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1 組：片山・古池）（ 2 ～ 5 組：岩葉・片山・古池）

使用教科書：（「数学Ⅰ standard」（東京書籍））

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力，論理的に考察し表現する力，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，適切な手法を選択して考察を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数と式 【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。	式の計算 実数	【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに，簡単な無理数の計算をすることができる。 ・2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	数と式 【知識及び技能】 不等式の意味や性質を理解し，一次不等式の解を図示し，求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。	一次不等式	【知識・技能】 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに，1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	6

2 学 期	集合と論証 【知識及び技能】 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする。	集合 命題と論証	【知識・技能】 - 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 - 集合の考えを用いて命題を論理的に考察し，簡単な命題の証明をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 事象を集合と論証の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	13
	2次関数 【知識及び技能】 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。	2次関数とそのグラフ	【知識・技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 2次関数の式とグラフとの関係について，グラフをかくなどして多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	2次関数 【知識及び技能】 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。	2次方程式と2次不等式	【知識・技能】 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し，2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 2つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	19
2 学 期	定期考査			○	○		1
	図形と計量 【知識及び技能】 図形と計量についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	鋭角の三角比 三角比の拡張 三角形への応用	【知識・技能】 - 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 - 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 - 鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 - 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 - 正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 - 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し，定理や公式として導くことができる。 - 図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 - 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1

3 学期	データの分析 【知識及び技能】 データの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	データの分析 データの分析の応用 仮説検定の考え方	【知識・技能】 ・分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして，データを表やグラフに整理したり，分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し，主張の妥当性について，実験などを通して判断したり，批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 数学 科目 数学A

教 科： 数学科 目： 数学A

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1～2組：片山） 3～5組：古池）

使用教科書：（「数学A standard」（東京書籍）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力や論理的に考察する力，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力や論理的に考察する力，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	①数え上げの原則と集合の要素の個数 ②順列	【知識・技能】 ①和集合・補集合の要素の個数，和の法則や積の法則を利用した場合の数を求めることができる。 ②順列の総数 nPr や階乗の値や条件のある並び方の総数などを計算することができる。 ②円順列や重複順列について理解し，それらの総数を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ①集合の要素の個数を図や補集合を用いて考察したり，和の法則や積の法則を利用して場合の数を計算したりすることができる。 ②円順列及び重複順列について図をかくなどしながら，原理を理解して立式し，場合の数の求め方を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①集合の要素の個数を図や補集合を用いて考えたり，積の法則による場合の数の計算方法を考えたりしようとしている。 ②円順列及び重複順列について図をかくなどしながら，立式して場合の数の求め方を考えようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	①組合せ ②事象と確率 ③確率の基本性質 ④独立な試行の確率	【知識・技能】 ①組合せの総数 nCr を理解し，計算することができる。 ①順列や組合せの考えを用いて，同じものを含む順列の求め方を理解し，総数を計算することができる。 ②事象を集合で表したり，事象の確率を求めたりすることができる。 ③積事象と和事象の確率について理解している。 ③排反事象と確率の加法定理について理解し，それらを用いて確率を求めることができる。 ④独立な試行の確率について，具体例を通してその意味を理解し，その確率を求めることができる。				

	【思考力、判断力、表現力等】 不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力や論理的に考察する力，事象に数学の構造を見だし，数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		【思考・判断・表現】 ①選び方の違いによって，その総数の求め方が組合せになるか順列になるかを説明することができる。 ①選び方の総数が一致する場合の法則性を考察することができる。 ①同じものを含む順列の総数の求め方を考察することができる。 ②同様に確からしいことを利用して，事象の確率の考え方を説明することができる。 ③互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や，余事象を用いた確率の求め方について考察することができる。 ④独立な試行の確率はそれぞれの事象の確率の積に等しいことに着目し，具体例を通して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①順列や組合せの考え方をを用いて，選び方の総数が一致する場合の法則性や同じものを含む順列の総数の求め方を考えようとしている。 ②同様に確からしい根元事象と関連付けながら事象の確率の考え方を説明しようとしている。 ③余事象を用いて確率を求めることのよさに気づき，余事象を積極的に活用しようとしている。 ④独立な試行の確率を求めるために，それぞれの事象の確率の積に着目して，そのことを活用しようとしている。	○	○	○	15
定期考査				○	○		1
場合の数と確率	【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数式化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力や論理的に考察する力，事象に数学の構造を見だし，数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	①反復試行の確率 ②条件付き確率 ③期待値	【知識・技能】 ①反復試行の確率を理解し，反復試行の確率を求めることができる。 ②条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し，条件付き確率を求めることができる。 ③期待値について理解し，期待値を求めたり，期待値を利用して確率を求めたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①反復試行の確率について，組合せの考え方と関連させて考察することができる。 ②これまで求めてきた確率と条件付き確率の違いを説明することができる。 ③期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①反復試行の確率について，組合せの考え方と関連付けて考えようとしている ③期待値を具体的な問題の意思決定に利用しようとしている。	○	○	○	8

2 学 期	図形の性質 【知識及び技能】 図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力や判断する力、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	三角形と比	【知識及び技能】 三角形に関する定理や性質について理解し、それらを用いて線分の長さや角度の大きさなどを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形に関する定理について、様々な性質を利用して証明や考察をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①図形の性質についての関心を高め、学習に取り組もうとしている。 ②三角形に関する様々な定理や照明について、性質を利用しながら考えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	図形の性質 【知識及び技能】 図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力や判断する力、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	円の性質 空間図形	【知識及び技能】 円に関する性質や定理を用いて、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 空間における2直線・2平面のなす角を求めることができる。 空間における直線と平面の位置関係が垂直であることをかき示すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 円に内接する四角形の定理、接線と弦のつくる角の定理それぞれの証明について、円周角の定理を利用して考察することができる。 円の外部の点から接線を2本引いたときの接線の始点と円の接点との関係に気付き、その関係を活用して接線の作図の考え方を説明することができる。 空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について、平面上の直線に着目して考察したり、説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 円や空間図形定理や照明について、性質を利用しながら考えようとしている。	○	○	○	8
	数学と人間の活動 【知識及び技能】 数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数える	【知識及び技能】 数を古代エジプト、古代ローマ、バビロニアの記数法で表すことができる。 n進法の特徴を理解している。 1を単位とした端数の考え方を理解している。 正方形の対角線を利用した無理数の長さの線分を作図する方法を理解している。 振り子のひもの長さと周期の2数の関係を式に表すことができる。				

	【思考力、判断力、表現力等】 数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力や論理的に考察する力、判断する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		【思考力、判断力、表現力等】 古代エジプトの数字や古代ローマの数字の記数法についての特徴を現在の記数法と比較しながら考察することができる。 n進法の特徴について考察することができる。 ひもの端数の考え方を利用して、ユークリッドの互除法の仕組みを考察することができる。 正方形の対角線が無理数であることについて説明することができる。 振り子による時間の計測の仕方について、振り子のひもの長さに着目して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 古代エジプトの数字や古代ローマの数字の記数法についての特徴を現在の記数法と比較しながら考えようとしている。 n進法の特徴について考えようとしている。 ひもの端数の考え方を利用して、ユークリッドの互除法の仕組みを考えようとしている。 正方形の対角線が無理数であることについて考えようとしている。 ⑤振り子による時間の計測の仕方について、振り子のひもの長さに着目して考えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3 学 期	数学と人間の活動 【知識及び技能】 数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力や論理的に考察する力、判断する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	はかる 遊ぶ	【知識及び技能】 ⑧歩測で距離を求めることができる。 ⑨空間内の点の位置を座標平面上の点から座標空間に拡張させて表すことができる。 ⑩魔方陣の考え方から式を立てたり、魔方陣の場合の数を求めたりすることができる。 ⑪オオカミとヤギとキャベツの川渡り問題について、ボートを動かす回数ができる限り少ない方法を理解している。 ⑫和算の油分け算の仕組みについてどのような関係があるかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ⑧測量による日本地図の作成方法やその精度などについて考察することができる。 ⑨空間内の点の位置を表す方法を考察することができる。 ⑩魔方陣の考え方や解き方などについて世界中の魔方陣の様子とともに考察することができる。 ⑪オオカミとヤギとキャベツの川渡り問題について数学を活用して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ⑧測量による日本地図の作成方法やその精度などについて考えようとしている。 ⑨空間内の点の位置を表す方法を考えようとしている。 ⑩魔方陣の考え方や解き方などについて世界中の魔方陣の様子とともに考えようとしている。 ⑪オオカミとヤギとキャベツの川渡り問題について数学を活用して考えようとしている。 ⑫和算の油分け算の仕組みについて2元1次不定方程式を活用して考えようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教 科： 理科 科 目： 化学基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：西村 幸也）（2組：西村 幸也）（3組：西村 幸也）（4組：西村 幸也）（5組：西村 幸也）

使用教科書：（ 実教出版 化学基礎 ）

教科 理科 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】基礎的な原理・法則を理解し，観察・実験を通して理科的な探究技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】自然界の事物・現象について科学的に考察し，自らの考えを的確に表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象について科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学に関する事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身につける。 観察，実験を行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身につける。	自然界や産業界にある事物・現象の中に問題を見出し，化学的に探究する過程を通して，事象を科学的・論理的に考察し，導き出した考えを的確に表現することができるようになる。	自然の事物・現象に進んでかかわり，科学的に探究しようとする態度を養う。 自然の原理・法則や科学技術と私たちの生活とのかかわりについての興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	身のまわりの物質に着目し，我々の生活が物質に支えられていることを理解する。 物質について調べることにより，さまざまな物質も特徴によって分類することができることを理解する。 中学で行った物質に関する実験を振り返り，これから学ぶ化学が物質に関する学問であることを理解する。	序章 物質と化学	【知識・技能】 物質の性質に注目し，それぞれの物質を性質ごとに分類することができる。 【思考・判断・表現】 実験を通して，身近な物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 実験1，2において，中学校で習った知識と関連付けながら仮説をたて，実験を計画し，結果をまとめ，発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活や社会を支える物質やその利用に関心をもち，物質の取り扱い方や人間生活における役割を探究しようとする。	○	○	○	1
	A 物質の探究 【知識及び技能】 物質の分離・精製，単体と化合物，熱運動と物質の三態について理解するとともに，それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 混合物の分離について，物質の化学的性質を考えて仮説を立て，実験などを行い，科学的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の分離・精製，単体と化合物，熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	・物質の分類と性質 ・混合物の分離(実験) ・物質と元素 ・成分元素の検出(実験) ・物質の三態と熱運動	【知識・技能】 身のまわりの物質を純物質と混合物に分類することができる。 粒子の熱運動と粒子間にはたらく力との関係を理解している。 混合物の分離，成分元素の検出に関する実験を正しく行うことができる。 【思考・判断・表現】 物質の物理的，化学的性質を調べることにより，混合物が分離できることを実験的・論理的に考え，的確に表現することができる。 物質の状態変化について粒子の運動をもとに考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の構造や性質に関する事象に関心をもち，意欲的に物質を探究しようとする。 身近な物質の三態変化と，粒子の熱運動と温度との関係に関心をもち，それらを意欲的に探究しようとする。	○	○	○	6
	B 物質の構成粒子 【知識及び技能】 物質の構成粒子について，原子の構造，電子配置と周期表のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成粒子について，観察・実験を通して探究し，原子の構造，電子配置と周期表について見出して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子の構造，電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・原子の構造 ・イオンの生成 ・元素の周期表 ・陽イオンになる元素(実験)	【知識・技能】 原子は原子核と電子からなっていて，価電子が物質の性質を決めていることを理解している。 元素の性質が電子配置と関係していることを理解することができる。 【思考・判断・表現】 原子構造の簡単なモデルについて，的確に表現することができる。 イオンの生成を電子配置と関連づけて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 元素の性質に興味をもち，元素の性質が周期的に変わることを探究しようとする。	○	○	○	6
	定期考查			○	○		1

2 学 期	C 化学結合 【知識及び技能】 物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質と化学結合について、観察・実験などを通して探究し、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合についてその特徴を見出して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・イオン結合 ・イオンのリーグ戦(実験) ・共有結合 ・配位結合と錯体(実験) ・金属結合 ・結晶の分類(実験)	【知識・技能】 イオン結合がイオン間の静電気的な引力による結合であることを理解している。 共有結合を電子配置と関連づけて理解している。 金属結合が自由電子の介在した結合であることを理解している。 組成式、分子式、物質の名称を、正確に示すことができる。 【思考・判断・表現】 実験や観察をもとに、イオン結合、共有結合、金属結合について考え、組成式や分子式で表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験や観察に主体的に関わり、各化学結合の共通の性質などについて積極的に探究しようとする。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	D 物質量 【知識及び技能】 物質量についての実験などを通して、物質量のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量について、観察・実験などを通して探究し、物質量の概念を見出して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質量に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・原子量と分子量・式量 ・塩素の原子量(実験) ・気体の分子量(実験) ・物質量 ・溶液の濃度(実験を含む)	【知識・技能】 原子量・分子量・式量と物質量の関係を論理的に理解し、物質量を用いた基本的な計算ができる。 モル濃度が溶液の体積と溶質の物質量との関係を表していることを理解している。 溶液調製に必要な実験器具を適切に取り扱い、目的とする濃度の水溶液を調製する技能を習得している。 【思考・判断・表現】 実験結果を、式量、分子量、物質量と結びつけて考えることができる。 モル濃度が、溶液の体積と溶質の物質量との関係を表していることを理解し、質量パーセント濃度とモル濃度の違いを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験や課題に主体的に関わり、物質量の概念について積極的に探究しようとする。	○	○	○	13
2 学 期	定期考査			○	○		1
	E 化学反応式 【知識及び技能】 化学反応式についての実験などを通して、化学反応式のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応式について、観察・実験などを通して探究し、化学反応式の持つ意味を見出して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・化学反応式 ・化学反応式(実験) ・化学反応式の量的関係 ・化学反応式の量的関係(実験)	【知識・技能】 化学反応式やイオン反応式について、正しく記述する技能を習得している。 化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解している。 【思考・判断・表現】 実験や観察の結果から、化学反応式の量的関係について考察し、的確に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 いろいろな物質の化学変化に注目し、化学変化の量的関係を物質量と関連づけて考察しようするとともに、意欲的にそれらを探究しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教 科： 理科 科 目： 生物基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1 組～5 組： 柏倉 ）

使用教科書： （ 「新編 生物基礎」 （数研出版） ）

- 教科 理科 の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】

基礎的な原理・法則を理解し，観察・実験を通して理科的な探究技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】

自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験などを行うことを通して，科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め，科学的な自然観を育成する。
- 【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象について科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象についての観察，実験などを行うことを通して，生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法が習得できている。また，報告書を作成したり発表したりして，科学的に探究する力が育まれている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度が養われている。その際，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章生物の特徴 第1 節生物の多様性と共通性 【知識及び技能】 生物の多様性と共通性、エネルギーと代謝、呼吸と光合成について理解する。 顕微鏡の使用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料を基に生物の共通する性質を導き出すことができるようになる。また、細胞が生物の構造上機能上の単位であることを考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて，生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また，呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は，酵素が関わっていることを理解しようとする。	・生物の多様性と共通性 ・細胞説 ・顕微鏡の使い方	【知識・技能】 ・生物の共通性と多様性について，すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて，それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 顕微鏡の使い方を理解する。 【思考・判断・表現】 ・資料や実験をもとに，生物に共通する性質を見いだし表現することができる。 ・細胞が生物の基本構造であることを，生物学的な視点から考察することができる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて，生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また，呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は，酵素が関わっていることを理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	5
	第1章生物の特徴 第2節エネルギーと代謝 第3節呼吸と光合成 【知識及び技能】 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。その際，呼吸と光合成の概要を扱う。 ・代謝の反応が行われるときに，酵素がどのように関与しているのか理解させる。 ・光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を，関連づけて考察し，それを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資料に基づいて，生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また，呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は，酵素が関わっていることを理解しようとする。	・生命活動と代謝 ・ATPについて ・呼吸 ・光合成 ・エネルギーの流れ ・酵素の性質	【知識・技能】 ・生命活動に必要なエネルギーを，呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生体内で行われる化学反応は，酵素が触媒していることを理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を，関連づけて考察し，それを表現できる。 （発問評価・課題提出） ・カタラーゼを用いた実験から，酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 （実験評価） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて，生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また，呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は，酵素が関わっていることを理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
	第2 章遺伝子とそのはたらき 第1節遺伝情報とDNA 第2 節遺伝情報の複製と分配 【知識及び技能】 ・DNAの構造や性質を，研究史を展開しながら理解させる。 ・DNA，遺伝子，ゲノムの関係性を理解させる。 ・DNAが体細胞分裂の際に，複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解させる。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期にあわせて行われることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料に基づき，DNAの構造を科学的に見い出すことができるようになる。 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・DNAの性質や構造を，DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子，染色体，DNAの関係について理解しようとする。 ・細胞分裂の際に，DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見いだし，理解しようとする。	・DNAについて ・DNAの構造 ・細胞周期とDNA ・遺伝情報の複製	【知識・技能】 ・DNAが二重らせん構造であること，そのため，2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム，遺伝子，染色体，DNAの関係を理解している。 ・体細胞分裂が行われる際に，遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・資料に基づき，DNAの構造を科学的に見い出すことができる。 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの性質や構造を，DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子，染色体，DNAの関係について理解しようとする。 ・細胞分裂の際に，DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見いだし，理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	10

	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	第2章遺伝子とそのはたらき 第2節遺伝情報の複製と分配 第3節遺伝情報の発現 【知識及び技能】 さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。 ・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解させる。 ・すべての遺伝子が細胞内でつねに発現しているわけではないことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。	・遺伝情報とタンパク質 ・タンパク質の合成 ・細胞の分化と遺伝情報 ・遺伝情報とゲノム	【知識・技能】 ・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 ・遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。 (定期考査) 【思考・判断・表現】 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 (発問評価・課題提出) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。 (発問評価・授業態度)	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	第3章ヒトの体内環境の維持 第1節体内での情報伝達と調節 第2節体内環境の維持のしくみ 【知識及び技能】 ・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解させる。 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解し、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得させる。 ・実験により得られたデータを比較・分析することにより、結論を導き出すことができるようになる。 ・腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解することができるようになる。 ・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できるようになる。 ・腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。 ・資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見いだし、理解しようとする。 第3節免疫のはたらき 【知識及び技能】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解する。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。	・体内環境の維持 ・血糖濃度の調節のしくみ ・血液循環を維持するしくみ ・体を守るしくみ ・適応免疫 ・免疫と健康	【知識及び技能】 ・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。 (定期考査) ・実験により得られたデータを比較・分析することにより、結論を導き出すことができる。 (課題提出・実験評価)・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 ・腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。 (定期考査) 【思考、判断、表現】 ・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだし理解することができる。 ・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。 (発問評価・課題提出) ・腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。 (発問評価・課題提出) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。 (発問評価・授業態度) ・資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見いだし、理解しようとする。 (発問評価・授業態度) 【知識及び技能】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。 (定期考査) 【思考、判断、表現】 ・資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。 (発問評価・課題提出) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。 (発問評価・授業態度)	○	○	○	13

	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	第4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移 【知識及び技能】 ・陸上には，森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ，植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解させる。 ・植生の遷移についてその過程を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料に基づいて，遷移の要因を見いだして理解させる。 ・植生の遷移が，光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資料に基づいて，植生が変化する要因を見いだし，その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。 2節 植生分布とバイオーム 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全 【知識及び技能】 ・地球上には，気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解させる。 ・生態系における生物の種多様性について理解させる。 ・生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解させる。 ・捕食によって物質とエネルギーが移動することを理解させる。 ・生態系のバランスと，人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解させる。 ・生態系の保全の重要性について認識させる。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは，バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し，それを表現することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球上にはさまざまなバイオームが成立していることを理解しようとする。	・植生とその成り立ち ・植生の遷移 ・植生の再生 ・植生とバイオーム ・世界のバイオーム ・日本のバイオーム ・生態系と生物の多様性 ・生態系における種多様性 ・生態系における生物どうしのつながり ・生態系のバランス ・人間生活と生態系 ・生態系の保全	【知識及び技能】 ・陸上には，森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ，植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 ・植生の遷移についてその過程を理解している。 （定期考査） 【思考、判断、表現】 ・資料に基づいて，遷移の要因を見いだして理解することができる。 ・植生の遷移が，光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて，植生が変化する要因を見いだし，その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。 （発問評価・授業態度） 【知識及び技能】 ・地球上には，気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。 （定期考査） ・生態系内における種多様性，生物どうしのかかわりあいについて理解している。 ・生態系のバランスや，生態系の保全の重要性について理解している。 （定期考査） 【思考、判断、表現】 ・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは，バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し，それを表現することができる。 （発問評価・課題提出） ・生態系と生物の多様性に関する観察，実験などから，生態系における生物の種多様性を見いだすことができる。 ・生態系の保全の重要性について，生物の多様性の視点から考察することができる。 ・世界の環境問題について，情報を調査し，自分の考えをまとめ，表現することができる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球上にはさまざまなバイオームが成立していることを理解しようとする。 （発問評価・授業態度） ・生物が多様であることを，食物網や間接効果と関連付けて理解しようとする。 ・生態系のバランスや，生態系を保全することが重要であることを理解しようとする。 （発問評価・授業態度）				
	定期考査			○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組～5組：林・村井・岡・稲垣）

使用教科書： 「現代高等保健体育」

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	B 体づくり運動 【知識及び技能】 (1)次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 (2)自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (3)体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 ○体を動かす楽しさや心地よさを味わう ○ 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する ○目的に適した運動の計画を立て取り組む 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に自主的に取り組む ・互いに助け合い教え合おうとする ・ 一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする ・話し合いに貢献しようとする ・健康・安全を確保する	○	○	○	8

F 剣道及び柔道 (剣道、柔道、ダンスより通年選択) 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。 ア 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすること。 イ 剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 (3) 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする こと、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする ことなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 ○ 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○ 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解している。 ○ 基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開しようとしている。 ※柔道 ・ 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をしている。 ※剣道 ・ 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をしている。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 武道に自主的に取り組もうとしている。 ・ 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・ 自己の責任を果たそうとしている。 ・ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・ 健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	
C ダンス (剣道、柔道、ダンスより通年選択) 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすること。 ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。 イ フォークダンスでは、日本の民踊 ようや外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み合わせ方で踊ること。 ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (3) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする こと、一人一人の違いに応じた表現や役割	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 ○ 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わう ○ ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する ○ イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をする 【思考・判断・表現】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ ダンスに自主的に取り組む ・ 互いに助け合い教え合おうとする ・ 作品や発表などの話合いに貢献しようとする ・ 一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする ・ 健康・安全を確保する	○	○	○	11

学期							
	C 陸上競技 【知識及び技能】 (1)記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 ア 短距離走・リレーでは、中間走へのつながりを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めること ウ 砲丸投げでは、立ち投げなどから砲丸を突き出して投げること、やり投げでは、短い助走からやりを前方にまっすぐ投げること。 【思考力、判断力、表現力等】 (2)動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 <						

	D 水泳 【知識及び技能】 (1) 次の運動について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，効率的に泳ぐこと。 ア クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 イ 平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 泳法などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (3) 水泳に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとする，自己の責任を果たそうとする，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 ○ 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解する ○ 効率的に泳ぐ ※クロール ・手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする ※平泳ぎ ・手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする 【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 ・水泳に自主的に取り組む ・勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとする ・自己の責任を果たそうとする ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする ・水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保する	○	○	○	13
	F 剣道及び柔道 【知識及び技能】 (1) 次の運動について，技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，伝統的な考え方，技の名称や見取り稽古の仕方，体力の高め方などを理解するとともに，基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。 ア 柔道では，相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技，連絡技を用いて，相手を崩して投げたり，抑えたりするなどの攻防をすること。 イ 剣道では，相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて，相手の構えを崩し，しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 (3) 武道に自主的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとする，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わう 伝統的な考え方，技の名称や見取り稽古の仕方，体力の高め方などを理解している。 基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開しようとしている。 ※柔道 ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技，連絡技を用いて，相手を崩して投げたり，抑えたりするなどの攻防をしている。 ※剣道 ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて，相手の構えを崩し，しかけたり応じたりするなどの攻防をしている。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・武道に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	

2 学 期	C ダンス 【知識及び技能】 (1)次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすること。 ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。 イ フォークダンスでは、日本の民謡 ようや外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ること。 ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。 【思考力、判断力、表現力等】 (2)表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (3)ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 ○ 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わう ○ ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する ○ イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をする 【思考・判断・表現】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに自主的に取り組む ・互いに助け合い教え合おうとする ・作品や発表などの話合いに貢献しようとする ・一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする ・健康・安全を確保する	○	○	○	20
	E球技 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。 イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。 ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 ○ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する ※ゴール型 ・ 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする ※ネット型 ・ 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする ※ベースボール型 ・ 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をする 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える	○	○	○	18

	【学びに向かう力、人間性等】 (3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。						
	H体育理論 【知識及び技能】 ア スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 (7) スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 (4) 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。 (7) 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること。 (エ) スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること。 【思考力、判断力、表現力等】 イ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ウ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に主体的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・ワークシート記入	○ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する ※ スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること ※ 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること ※ 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること ※ スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること				
				○	○	○	4

F 剣道及び柔道 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。 ア 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすること。 イ 剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 (3) 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする ことなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わう 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解している。 基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開しようとしている。 ※柔道 ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をしている。 ※剣道 ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をしている。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・武道に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	7
C ダンス 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすること。 ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。 イ フォークダンスでは、日本の民謡 ようや外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ること。 ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するととも	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 ○ 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わう ○ ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する ○ イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をする 【思考・判断・表現】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに自主的に取り組む ・互いに助け合い教え合おうとする ・作品や発表などの話合いに貢献しようとする ・一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする ・健康・安全を確保する	○	○	○	

3 学期	に、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (3)ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。					
	C 陸上競技 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 ア長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (3) 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 ○ 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 各種目特有の技能を身に付ける 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に自主的に取り組む ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする ・自己の責任を果たそうとする ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする ・健康・安全を確保する	○	○	○

	球技 【知識及び技能】 （１）次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。 イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。 ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 （２）生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 （３）球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 ○ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する ※ゴール型 ・ 安定したボール操作と空間を作りだすなど の動きによってゴール前への侵入などから攻防をする ※ネット型 ・ 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする ※ベースボール型 ・ 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をする 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組む ・フェアなプレイを大切にしようとする ・作戦などについての話合いに貢献しようとする ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする ・互いに助け合い教え合おうとする ・健康・安全を確保する	○	○	○	7
							合計
							105

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（ 1 組～5 組：村井 ）

使用教科書：（ 「現代高等保健体育」（大修館） ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】
- 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	(ア) 健康の考え方 【知識及び技能】 ㊦国民の健康課題 国民の健康課題について、我が国の死亡率、平均寿命など各種指標や疾病構造の変化を通して理解できるようにする。また、健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達など社会状況が関わっていることについて理解できるようにする。 ㊧健康の考え方と成り立ち 健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、健康についての考え方が変化してきていることを理解できるようにする。生活の質や生きがいを重視する健康の考え方などを理解できるようにする。 ㊨適切な意思決定や行動選択と環境づくり ヘルスプロモーションの考え方に基づき、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることを理解できるようにする。健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることを理解できるようにする。 【思考・判断・表現力等】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見すること。 国民の健康課題について、データや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理すること。	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた	【知識】 ア 現代社会と健康について理解を深めること。 (ア) 健康の考え方 ・国民の健の健康課題 ・主体と環境の相互作用 【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。	○	○	○	12

	(イ) 現代の感染症とその予防 【知識】 感染症は、時代や地域によって、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化によって、新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることを理解できるようにする。 感染症を予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解できるようにする。 エイズ及び性感染症は、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用すること。	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズ・指導事項 ・学習プリント	【知識】 ア 現代社会と健康について理解を深めること。 (イ) 現代の感染症とその予防 ・個人の取組及び社会的な対策 【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。				
定期考査				○	○	○	1
	(ウ) 生活習慣病などの予防と回復 【知識】 。生活習慣病の予防と回復には、個人の取組とともに社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。また、日頃の生活習慣が将来の健康課題につながることを理解できるようにする。 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患などを取り上げ、生活習慣病のリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であることうを理解できるようにする。 がんについては、様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。がんの回復においては、様々な治療法があること、生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて触れる 「思考・判断・表現」 生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会対策を整理すること。	生活習慣病の予防と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 がんの原因と予防 がんの治療と回復・指導事項 ・学習プリント	【知識】 ア 現代社会と健康について理解を深めること。 (ウ) 生活習慣病などの予防と回復 ・運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活 ・疾病の早期発見及び社会的な対策 【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。	○	○	○	
	(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識】 ⑦喫煙、飲酒と健康 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解できるようにする。喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解できるようにする。 ⑧薬物乱用と健康 薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解できるようにする。その際、危険ドラッグの	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 ・指導事項 ・学習プリント	【知識】 ア 現代社会と健康について理解を深めること (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・個人や社会環境への対策 【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。				

2 学 期	問題に適宜触れるようにする。 薬物乱用を防止するには、個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，これまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり，諸外国と比較したりして，防止策を評価すること。			○	○	○	13
	(オ) 精神疾患の予防と回復 ㊦精神疾患の特徴 精神疾患の原因とその状態について理解できるようにする。また、誰でも罹患する，若年で発症する疾患が多いこと，適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることなどを理解できるようにする。 ㊧ 精神疾患への対処 精神疾患の予防と回復には，身体 の健康と同じく，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた生活を実践し，ストレスを緩和することなどが重要であることを理解できるようにする。 また，心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることを理解できるようにする。その際，専門家に援助を求めることが有効であることにも触れるようにする。 【思考・判断・表現】 精神疾患の予防と回復について，習得した知識を基に，心身の健康を保ち，不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理すること。	精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復 ・ 予防・回復・指導事項 ・ 学習プリント	【知識】 ア 現代社会と健康について理解を深めること (オ) 精神疾患の予防と回復 ・ 運動，食事，休養及び睡眠の調和のとれた生活 ・ 疾病の早期発見及び社会的な対策 【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について，安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え，それらを表現すること。	○	○	○	
3 学 期	定期考査			○	○	○	1
	(ア) 安全な社会づくり 【知識・技能】 ㊦事故の現状と発生要因 事故の現状を理解し、事故の発生には人的要因や環境要因などが関連していることを理解できるようにする。 ㊧安全な社会の形成 安全な社会の形成には，交通安全，防災，防犯などを取り上げて，法的な整備などの環境の整備，環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組，及び地域の連携などが必要であることを理解できるようにする。 ㊦交通安全 交通事故を防止するには，自他の生命を尊重するとともに，自分自身自身の心身の状態や周りの環境，車両の特性などを把握すること及び個人の適切な行動，交通環境の整備が必要であることを理解できるようにする。 交通社会の一員として、運転者としての責任，加害事故の防止や事故発生時の適切な対処が必要であるという視点を重視する。	事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 ・ 指導事項 ・ 学習プリント	【知識】 ア 安全な社会生活について理解を深めるとともに，応急手当を適切にすること。 (ア) 安全な社会づくり ・ 環境の整備と個人の取組 【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について，安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え，それらを表現すること。	○	○	○	4

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅰ

対象学年組：第　1学年　　1組～　　5組

教科担当者：山田　泰之

使用教科書：　MUOSA1

芸術 科目 音楽Ⅰ

単位数：　　2 単位

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

[illegible]

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科芸術科目美術Ⅰ

教 科： 芸術科 目： 美術Ⅰ単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1 組：丸山 ）（2 組：丸山 ）（3 組： 丸山 ）（4 組：丸山 ）（5 組：丸山 ）（ 組： ）

使用教科書：（ 「高校生の美術 1」（日本文教出版） ）

教科 芸術

- 【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。造形的な視点を豊かにするために必要な知識と、表現における創造的に表す技能を育む。
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。表現における発想や構想と、鑑賞における見方や感じ方を育む。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。主体的に取り組み、生涯にわたって美術を愛好する心情、豊かな感性を育む。

科目 美術Ⅰ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映						
	絵画 想像を形に 【知識及び技能】 材料や用具の特性を理解し、目的や意図に応じて特性や効果を生かしながら形や色彩、質感、空間などの表現を工夫し、想像の世界を表している。 【思考力、判断力、表現力等】 想像の世界を表すために、形や色彩、大きさや質感などを変化させたり、ものどもの、ものと風景などの組み合わせを工夫しながら構想を練り、主体的に主題を生成し、創造的に表そうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 現実にはあり得ない架空の世界や夢の中の出来事などを表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、想像の世界を表すための構想を練ろうとしている。	・シュールレアリスム実験(オートマティスム、夢の記憶)を通して、その考え方や魅力について興味と関心を高める。 ・名詞を20分間書き出す。 ・書き出した名詞から、3つモチーフを選び出し、現実にはあり得ない組み合わせを考えて、アイデアスケッチをする。 ・時間や空間の不思議さや面白さを表す背景を探し出し、モチーフを組み合わせながら、不思議な世界を表すための構図を考え、形や色彩の表し方の構想を練る。 ・材料や用具を効果的に用いながら、形や色彩を工夫して超現実な世界を表現する。 ・自らの制作過程を振り返り、作品の表現意図と表現の工夫について分析する。 ・他者の作品を鑑賞し、主題と表現の工夫について考察する。	○			○	材料や用具の特性を理解し、目的や意図に応じて特性や効果を生かしながら形や色彩、質感、空間などの表現を工夫し、想像の世界を表している。 想像の世界を表すために、形や色彩、大きさや質感などを変化させたり、ものどもの、ものと風景などの組み合わせを工夫しながら構想を練り、主体的に主題を生成し、創造的に表そうとしている。 現実にはあり得ない架空の世界や夢の中の出来事などを表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、想像の世界を表すための構想を練ろうとしている。	○	○	○	12
	資料 美の秩序・色彩―構成の要素― 【知識及び技能】 美しさを感じさせる効果的な形や色彩を使用し、伝達の目的や意図に基づいて制作のの見通しをもって表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 伝達する内容や目的と見やすさや美しさの調和を考えて主題を生成し、形や色彩などの造形要素の性質がもたらす感情の効果を考えた創造的な表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 造形の秩序に関心をもち、情報伝達における形や色彩などの造形要素の働きを考え、理解する。	・教科書の参考作品を鑑賞し、造形の秩序について理解する。 ・「静」「動」を色彩と形体で表現するアイデアスケッチをする。 ・ケント紙に平塗りで本番描きをする。 ・完成した平面構成を相互に鑑賞する。		○		○	美しさを感じさせる効果的な形や色彩を使用し、伝達の目的や意図に基づいて制作のの見通しをもって表現する。 伝達する内容や目的と見やすさや美しさの調和を考えて主題を生成し、形や色彩などの造形要素の性質がもたらす感情の効果を考えた創造的な表現の構想を練る。 造形の秩序に関心をもち、情報伝達における形や色彩などの造形要素の働きを考え、理解する。	○	○	○	8

	デザイン 生活を彩る模様 【知識及び技能】 目的や意図に基づいて、技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を吟味し、制作の見通しをもって主題を追求し表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 包装紙の目的や条件、機能や用途と造形的な美しさとの調和を考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 包装紙の目的、機能などを考えて表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、造形要素の働きを考え表現しようとしている。	・目的に合わせた包装紙をデザインすることを理解する。 ・既存の包装紙とその目的や対象を分析的に鑑賞する。 ・用途に合わせて構想を練る。 ・構想に合わせて、模様の最小単位を考える。 ・構想に合わせて模様の繰り返しを工夫する。 ・配置を工夫しながら版を押し、模様を作り、包装紙を完成させる。 ・完成した包装紙で空き箱を包むなどして、完成した包装紙が用途に合っているかを検証する。	○	○	目的や意図に基づいて、技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を吟味し、制作の見通しをもって主題を追求し表現している。 包装紙の目的や条件、機能や用途と造形的な美しさとの調和を考え、創造的な表現の構想を練っている。 包装紙の目的、機能などを考えて表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、造形要素の働きを考え表現しようとしている。	○	○	○	6
2 学 期	絵画 新名所江戸百景 【知識及び技能】 日本画の特色を知り、それを生かす。 【思考力、判断力、表現力等】 対象の良さを構図を工夫して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 郷土の名前の由来・歴史・文化などを知り、郷土に愛着を持つ。	・広重「名所江戸百景」の鑑賞を通して郷土の文化歴史を調べる ・日本画の歴史・文化・作業工程を学び、特性を知る。 ・構図を工夫して対象の良さを伝えられるようにする ・日本の風土・文化に興味・関心を持つ。	○	○	日本画の特色を知り、それを生かす。 対象の良さを構図を工夫して表現する。 郷土の名前の由来・歴史・文化などを知り、郷土に愛着を持つ。	○	○	○	14
	絵画 版で表す 【知識及び技能】 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、創意工夫して主題を追求し、表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、構成などを工夫して創造的に表現の構成を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 木版画で表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成して構想を練ったり、主題を追求して表現しようとしたりしている。	・教科書作品等を参考に、版画の種類と特性を理解するとともに、木版画の特性やよさについて理解する。 ・下絵を作成する。 ・トレーシングペーパーに下絵を写す。 ・写した下絵を版木に裏返して置き、カーボン紙を挟んで転写する。 ・彫刻刀で彫る。 ・刷りの準備をする。 ・版木に絵具をつけ、バレンで力を入れて刷る。 ・完成した作品を互いに鑑賞しあう。	○	○	意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、創意工夫して主題を追求し、表現している。 感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、構成などを工夫して創造的に表現の構成を練っている。 木版画で表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成して構想を練ったり、主題を追求して表現しようとしたりしている。	○	○	○	14
3 学 期	文字の結晶 【知識及び技能】 造形表現の上で必要となる約束事を理解して活動している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品をまとめる意識を持ち、配置のバランスや見た感じの美しさを追求している。 【学びに向かう力、人間性等】 今後の抱負を造形作品にすることに関心を持ち、結晶としてあらわすことに主体的に取り組んでいる。	・教員の演示を見て「文字の結晶」の表現方法を知る。ハサミやカッターを使って、いろいろな文字を結晶としてあらわす。 ・抱負の文字を折り重ねた紙に書く。 ・抱負の文字をハサミやカッターで切り抜く。 ・切り抜いた結晶を丁寧に開き、つながりを確認して、画用紙に貼る。	○	○	造形表現の上で必要となる約束事を理解して活動している。 作品をまとめる意識を持ち、配置のバランスや見た感じの美しさを追求している。 今後の抱負を造形作品にすることに関心を持ち、結晶としてあらわすことに主体的に取り組んでいる	○	○	○	4
	彫刻 抽象彫刻で表す 【知識及び技能】 道具を正しく安全に使用し、彫刻を制作することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉やイメージから発想を広げ、動きを感じる形を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 バランス、全体と部分との調和に気を配り、美しい形を追求している。	・言葉やイメージから発想を広げ、動きを感じる抽象彫刻を作る。 ・バランス、全体と部分との調和に気を配り、美しい形を追求する。	○	○	道具を正しく安全に使用し、彫刻を制作することができる。 言葉やイメージから発想を広げ、動きを感じる形を考えることができる。 バランス、全体と部分との調和に気を配り、美しい形を追求している。	○	○	○	12 合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教科： 芸術 科 目： 書道Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：大河原 達也

使用教科書：（「書Ⅰ」（教育図書））

教科 芸術 の目標：
【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
2 年 生	隷書の学習 【知識及び技能】 隷書の成立過程や公式書体としての性質を再確認する。 作られた経緯や書風について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞・臨書し、八分特有の扁平な字形、藏鋒、中鋒などの用筆、また、波磔、転折、右払い、左払いなどの形と用筆を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	・書道用具、教科書、副教材 ・乙瑛碑の臨書 隷書の基本点画、運筆法・表現法を指導する。	○			○	【知識及び技能】 隷書の成立過程や公式書体としての性質を再確認する。 作られた経緯や書風について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞・臨書し、八分特有の扁平な字形、藏鋒、中鋒などの用筆、また、波磔、転折、右払い、左払いなどの形と用筆を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	○	○	○	13
	篆書の学習 【知識及び技能】 篆書の成立過程や公式書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 篆書の基本点画、運筆法・表現法を理解する。 篆書の造形を理解し基本的な造形を理解し表現の構想に結びつける。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	・書道用具、教科書、副教材 ・泰山刻石の臨書 篆書の基本点画、運筆法・表現法を指導する。 姓名印を作る 篆刻学習を通し、落款の大切さも理解させる。	○			○	【知識及び技能】 篆書の成立過程や公式書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 篆書の基本点画、運筆法・表現法を理解する。 篆書の造形を理解し基本的な造形を理解し表現の構想に結びつける。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	○	○	○	13
	草書の学習 【知識及び技能】 草書の成立過程や通行書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞・臨書し、草書の特徴である点画の連続や省略、柔らかく丸みのある用筆などを理解し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	十七帖の臨書 草書の基本点画・運筆法を指導する。	○			○	【知識及び技能】 草書の成立過程や通行書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞・臨書し、草書の特徴である点画の連続や省略、柔らかく丸みのある用筆などを理解し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	○	○	○	14

3 学 期	行書の学習 【知識及び技能】 行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続・省略などの特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞・臨書し、特徴を理解し行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続・省略si表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞し、抑揚を利かせた用筆や、筆脈により自在に変化する文字の姿を感じ取る。 価値を理解し、その書風や文章の内容を理解する。	風信帖の臨書（半紙） 半切の作品の作り方を学習する。	○	○	【知識及び技能】 行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続・省略などの特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞・臨書し、特徴を理解し行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続・省略si表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞し、抑揚を利かせた用筆や、筆脈により自在に変化する文字の姿を感じ取る。 価値を理解し、その書風や文章の内容を理解する。	○	○	○	14
	仮名の学習 【知識及び技能】 漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 万葉仮名から草仮名を経て女手に至る仮名文字の推移と、それぞれの性質を理解し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	高野切第一種臨書 古典作品を臨書させることで、余白・連綿の美しさも理解させる。	○	○	【知識及び技能】 漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 万葉仮名から草仮名を経て女手に至る仮名文字の推移と、それぞれの性質を理解し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	○	○	○	16 合 計 70

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：石橋・公文） （23組：石橋・太田・公文） （45組：石橋・太田・公文）

使用教科書：（ Power On English CommunicationⅠ （東京書籍）

教科 外国語	の目標：
【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ	の目標：
【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 「や」	話 「発」	書					
1 学 期	Lesson 1 Japan’ s New Tourism 【知識及び技能】 動詞の現在形 過去形や進行形の使い方が身についている。 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 英文内容を正確に理解し、自分でまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・外国からの観光客に人気の体験型ツーリズムを紹介するALTの話 ・動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形 ・質問する，説明する，発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による現在形・過去形に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「観光」や「ニューツーリズム」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	12
	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson 2 Light from Creatures 【知識及び技能】 受動態 現在完了の使い方が身についている。過去分詞を正確に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 英文内容を正確に理解し、自分でまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・生き物が光る理由や，その光が医療研究に利用されていることに関する生徒による発表。 ・受け身，現在完了形，現在完了進行形 ・質問する，説明する，理由を述べる，発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による受動態・現在完了形に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「生き物の医療研究」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	9
	Lesson 3 Routes to the Top 【知識及び技能】 動名詞、不定詞の使い方が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 英文内容を正確に理解し、自分でまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・スポーツクライマーである野口選手のインタビュー ・動名詞，不定詞，S＋V＋O [that節] ・質問する，説明する，理由を述べる，助言する，紹介する，発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による動名詞、不定詞に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「スポーツ選手のインタビュー」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	8

2 学 期	Lesson 4 Left to Right, Right? 【知識及び技能】 関係代名詞 主格と目的格の用法が身についている。seem to 不定詞の意味と使い方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 英文内容を正確に理解し、自分でまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・日本のマンガの形式やその翻訳に関する留学生による発表 ・後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級 ・質問する、助言する、説明する、賛成する、理由を述べる	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による現在分詞、過去分詞に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「日本のマンガ」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson 5 Banana Paper 【知識及び技能】 形式主語構文の使い方が身についている。関係副詞、過去完了を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 英文内容を正確に理解し、自分でまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・ザンビアのバナナの茎から作られるバナナペーパーへの日本の伝統技術貢献に関する講義 ・関係代名詞（主格）、関係代名詞（目的格）、S+seem+to不定詞 ・質問する、説明する、理由を述べる、誘う	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による関係代名詞、主格と目的格に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「日本の伝統技術貢献」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	10
	Lesson 6 Patterns in Human Behavior 【知識及び技能】 形式主語構文の使い方が身についている。関係副詞、過去完了を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 英文内容を正確に理解し、自分でまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・人間の興味深い行動パターンに関する実験の手順や結果を解説する雑誌記事 ・It+be動詞+形容詞+that節, S+V [be動詞以外+C] , S+V+O+C [形容詞] ・質問する、説明する、発表する、提案する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による関係副詞、過去完了に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「人間の興味深い行動パターン」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	10
	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson 7 No Plastic or No Future 【知識及び技能】 関係副詞where, 関係副詞when, 関係代名詞what身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 英文内容を正確に理解し、自分でまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・プラスチックがもたらす環境破壊に関する論説文 ・関係副詞where, 関係副詞when, 関係代名詞what ・質問する、理由を述べる、描写する、説明する、発表する、報告する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による関係副詞where, whenに関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「環境破壊」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	10
	Lesson 8 Oh My Cod! 【知識及び技能】 現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を理解し、表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 英文内容を正確に理解し、自分でまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・イギリス人ALTによるフィッシュ・アンド・チップスの歴史と食料資源に関する発表 ・現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形 ・質問する、説明する、報告する、発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「食料資源」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	10
	定期考査			○			○		○	○		1

3 学 期	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport?	・世界中の若者の間で人気が出てきているeスポーツの実況中継 ・S+V [知覚] +O+ [現在分詞, 原形不定詞] , S+V [使役] +O+C [原形不定詞] , S+V+O₁+O₂ [if などの節] ・質問する, 理由を述べる, 意見を言う, 説得する, 発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による知覚動詞、使役動詞に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「eスポーツの実況中継」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	12
	Lesson 10 Being Different Is Beautiful	・写真家ヨシダナギさんに関する雑誌記事 ・wish+仮定法過去の節, 仮定法過去のas if節, 仮定法過去のif節 ・説明する, 仮定する, 意見を言う, 発表する, 報告する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による仮定法に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「雑誌記事」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	11
	定期考査			○			○		○	○		1
												105

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：石橋・菅田）（2/3組：石橋・太田・菅田）（4/5組：石橋・太田・小林）

使用教科書：（「VISTA Logic and ExpressionⅠ」（三省堂））

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】外国語の音声、語彙、表現、文法などを理解し、コミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションにおいて外国語で情報や考えを的確に理解したり、表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実際に英語を用いた言語活動を通して、外国語の音声、語彙、表現、文法などを理解し、コミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につけさせる。	コミュニケーションにおいて情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりする能力を養う。	話したり書いたりする言語活動を中心に、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	L1 Bouldering？How nice！ ボルダリング？ いいね！ L2 Famous People この人は何を した人？ 【知識及び技能】現在形・過去形 に関する事項を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】学 校生活や歴史上の人物などについて やり取りや作文を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味・関心を持ち、積極的に 英語でのやり取りを行う。	・現在形(be動詞 / 一般動詞) 過去形(be動詞 / 一般動詞) ・「クラブ活動」や「高校でして みたいこと」などについての対話 や作文 ・「歴史上の人物」についての対 話や作文	○	○	○	○	○	【知識及び技能】定期考查による現在形・ 過去形に関する事項の理解度の確認【思考 力、判断力、表現力等】「クラブ活動」や 「高校でしてみたいこと」、「歴史上の人物」 についての対話や作文力のSpeaking・ Writingテストによる確認 【学びに向かう 力、人間性等】提出物等全体を通しての意 欲の確認	○	○	○	5
	L3 Aquarium Adventure 今、クラ ゲに夢中だよ！ 【知識及び技能】現在進行形・過 去進行形に関する事項を理解させ る。 【思考力、判断力、表現力等】して いること、していたことについてや り取りや作文を行う。 【学びに 向かう力、人間性等】 題材に興味・関心を持ち、積極的に 英語でのやり取りを行う。	・現在進行形 / 過去進行形 ・「今していること」や「過去に していたこと」についての対話や 作文	○	○	○	○	○	【知識及び技能】定期考查による現在進行 形・過去進行形に関する事項の理解度の 確認【思考力、判断力、表現力等】「今し ていること」や「過去にしていたこと」に ついての対話や作文力のSpeaking・ Writingテストによる確認 【学びに向かう 力、人間性等】提出物等全体を通しての意 欲の確認	○	○	○	5
	定期考查		○	○			○		○	○	○	1
	L4 My Summer Plan JAXAへ行くよ 【知識及び技能】未来表現に関する 事項を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】夏 休みの予定についてやり取りや作文 を行う。 【学びに 向かう力、人間性等】 題材に興味・関心を持ち、積極的に 英語でのやり取りを行う。	・未来表現(will / be going to) ・「夏休みの予定」についての対 話や作文	○	○	○	○	○	【知識及び技能】定期考查による未来表現 に関する事項の理解度の確認【思考力、判 断力、表現力等】「夏休みの予定」につい ての対話や作文力のSpeaking・Writingテ ストによる確認 【学びに向かう力、人間 性等】提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	7
	L5 UFO Sightings キミはUFOを見た ことがあるか？！ L6 Homestay ホームステイにチャレン ジ！ 【知識及び技能】現在完了形に関す る事項を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】経 験・完了・継続ついてのやり取りや 作文を行う。 【学びに 向かう力、人間性等】 題材に興味・関心を持ち、積極的に 英語でのやり取りを行う。	・現在完了形①(経験 / 継続) 現 在完了形②(完了 / 現在完了進行 形) ・「経験したこと」や「完了した こと」、「継続したこと」につい ての対話や作文	○	○	○	○	○	【知識及び技能】定期考查による現在完了 形に関する事項の理解度の確認【思考力、 判断力、表現力等】「経験したこと」や 「完了したこと」、「継続したこと」につ いての対話や作文力のSpeaking・Writing テストによる確認 【学びに向かう力、人 間性等】提出物等全体を通しての意欲の確 認	○	○	○	7
	定期考查		○	○			○		○	○	○	1

[illegible]

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科 総合的な探究の時間

科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1組：小柴・片山） （2組：稲垣・公文） （3組：石橋・丸山） （4組：鈴木・古池） （5組：東・佐藤）

使用教科書： （ 「人間としての在り方生き方に関する教科『人間と社会』改訂版教科書」（東京都教育委員会） ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

- 【知識及び技能】探究の過程において、課題発見と課題解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、フィールドワーク等を活用し情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、地域の未来を考えようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、その解決に向けて必要な知識や技能を身につける。	社会的現実にはらし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会の関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度とよりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「総合的な探究の時間」を学ぶにあたって 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の意義や内容,情報収集,レポートの書き方など学習の方法を理解する。	オリエンテーション ・「総合的な探究の時間」を学ぶにあたって,学習の意義や内容,情報収集,レポートの書き方など学習の方法,評価の方法を理解する。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「総合的な探究の時間」を学ぶために学習の意義や内容,情報収集,レポートの書き方など学習の方法を理解しようとする。			○	1
	第1章 人間関係を築く 【知識及び技能】 ・人間関係を築くために必要なことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・円滑なコミュニケーションを取るために言葉の表現力を高める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい人間関係を築くために大切な考え方について議論する。	・自己理解と他者理解 ・コミュニケーションの取り方 ・よりよい人間関係を築くための考え方を議論する	【知識・技能】 ・人間関係を築くために必要なことを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・コミュニケーションを取るために重要なことを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的にグループワーク等に取り組むことができる。	○	○	○	2
	第2章 学ぶことの意義 【知識及び技能】 ・学ぶことの意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学ぶことの意味を他者にわかりやすく表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学ぶことの意味について考え、議論する。	・なぜ学ぶのか理解する。 ・高校生活での学びについて考える。 ・学び続けるときに大切なことを表現する。	【知識・技能】 ・学びの中で重要なことを理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・高校生活の学びについて思考し、適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な学びに関する事例を通じて、理解を深めることができる。	○	○	○	2
	第3章 働くことの意義 【知識及び技能】 ・働くことの意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・働くことの意味を他者にわかりやすく表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・働くことが社会に貢献することとどのように関わっているか議論する。	・人は何のために働くのか理解する。 ・働くことの意味を理解する。 ・働き方の事例を通じて、よりよい働き方を模索する。	【知識・技能】 ・働くことの意義や意味を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・働くことの意義を適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な働き方に関する事例を通じて、理解を深めることができる。	○	○	○	2
	働くことや職業について考える 【知識及び技能】 ・働くことを定義することで、将来の働き方を鮮明にする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・働くことについて、多角的な視点から考える。 ・将来働くために、今の自分たちに何ができるかを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の考えや思いを、相手に伝わりやすく発信しようとする。	・働くことについて理解する。 ・様々な業種や業界について調べ、調査結果をパワーポイントにまとめる。 ・中間発表を実施する。 ・クラスや学年発表を通して、働き方について考える。	【知識・技能】 ・様々な業種や業界の状況を分析し、問いを立てることができる。 【思考・判断・表現】 ・業種や業界の実情からその業種や業界の未来について、多角的に考えることができる。 ・実社会や実生活と自己の関わりから問いを見出し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多種多様な働き方について考察し、自分の考えや思いを相手に伝わりやすく発信しようとする。	○	○	○	6
2 学 期	インターンシップ① 【知識及び技能】 ・インターンシップに向け、必要なことを考え、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が立てた問いに対し、多角的な視点から解決に導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インターンシップに向け、班員と協力して、学びを深める。	・インターンシップ先の業種や業界について調べる。 ・インターンシップに向けた事前学習をする。 ・社会に出るために必要なことを考察する。	【知識・技能】 ・インターンシップ先の業種・業界を分析し、問いを立てることができる。 【思考・判断・表現】 ・インターンシップ先の業種・業界について、多角的に考えることができる。 ・実社会や実生活と自己のかかわりから問いを見出し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の考えや思いを相手に伝わりやすく発信しようとする。	○	○	○	7

	インターンシップ② 【知識・技能】 ・インターンシップを通じて、働き方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・働くうえで重要なことを理解し、社会人との適切なコミュニケーションを取る。 【主体的な学習に取り組む態度】 ・インターンシップに積極的に参加し、働くことを経験する。	・社会人との適切な関わり方を理解する。 ・インターンシップを通じて、働くことを経験し、理解する。 ・働くことのために必要な礼法や作法を理解する。	【知識・技能】 ・インターンシップを通じて、働くことを理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・働くために適切なコミュニケーションを取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的にインターンシップに参加することができる。	○	○	○	7 (18) インターンシップ 実施数
3 学 期	インターンシップ③ 【知識・技能】 ・インターンシップを通じて、働くために必要なことを理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・インターンシップでの経験をまとめ、発表する。 【主体的な学習に取り組む態度】 ・インターンシップでの経験をまとめ、働くために重要なことを考える。	・インターンシップでの経験をパワーポイントや報告書にまとめる。 ・インターンシップ先にお礼状を作成する。 ・学年発表を通して、働くことについて共有する。	【知識・技能】 ・インターンシップの経験を通じて、働くことの意義を再度、理解することができる。 【思考力、表現力、判断力】 ・インターンシップでの経験を整理・分析して、まとめ、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インターンシップでの経験を相手に伝わりやすく発信しようとする。	○	○	○	8
							合計
							35 (53) インターン シップ実施 数含む